

●執筆要領

執筆要領にしたがって執筆し、仕上がりが同じ体裁になるようにする。

発表梗概原稿は聴講者に内容を徹底させ、併せて講演時間の短縮、かつ会員にも講演内容を速報報告するために PDF データで HP 公開する。

1. 用紙設定

白地の A4 判 2~4 ページとする。横書き 2 段組を原則とし、ワープロソフト等で上マージン 25mm、下マージン 22mm、左右マージン 15mm、1 段を 87mm（段の間隔 6mm）、1 ページあたり 48 行、1 段あたり 25 文字を基準（文字の大きさ 9.5pt 相当）として設定する。

2. 文字

和文は JIS 第一水準、第二水準の漢字を使用する。本文書体は、和文は明朝体、欧文は Times New Roman を用いることが望ましい。

3. 発表部門一細分類

例（2. 構造ー1. 荷重・信頼性）のように記載する。

4. キーワード

発表申込書に記入したものと同じ和文キーワード 3~6 個を必ず記述する。用語は日本建築学会「学術用語集_建築学編」から選ぶことを基本とするが、適当な語がない場合はこの限りではない。

5. 記載方法

1 ページ目上段

- ・1 ページ目上段に表題、会員種別・発表者名、発表部門一細分類、キーワードの順に記載する。
- ・表題は第 1 行に、本文より大きな文字で書く。
- ・会員種別・発表者名（連名の場合は講演発表者を筆頭に記し、氏名の前に○印をつける）は上段右側に寄せて書く。
- ・発表部門一細分類、キーワードは、上段左側に寄せて書きキーワードと本文の間は 1 行あける。

1 ページ目下段（欧文表題・欧文発表者名）

- ・記載欄と本文の間に罫線を引く。
- ・欧文表題、欧文発表者名の順に記載する。欧文表題は左側に、欧文発表者名は右側に寄せて書く。
- ・欧文講演発表者名はローマ字で姓・名の順に記入し、姓はすべて大文字とし、名は頭文字のみ大文字とする。

最終ページ下段（和文所属・欧文所属）

- ・記載欄と本文の間に罫線を引く。
- ・和文所属（・学位）、欧文所属（・学位）の順に記載する。
- ・和文所属は左側に、欧文所属は右側に寄せて書く。

6. 図表および写真

図表および写真は適当と思われる場所にレイアウトする。

図表および写真は原稿に貼り付けた状態で PDF 化し、別ファイルにはしない。

●電子投稿用原稿作成上の注意

1. ファイル形式

電子原稿は、Adobe Acrobat Reader で表示または印刷可能な PDF (Portable Document Format) ファイルで提出する。PDF ファイル読み取り専用の Acrobat Reader では PDF ファイルに変換することはできないので、Adobe Acrobat をお持ちでない方はあらたに購入する必要がある。

2. ファイルサイズ（容量）の制限

ファイルサイズは、1MB 以内とし、ファイルは一つとし、圧縮ツールやセキュリティ設定は使用しないこと。

3. ファイル名について

ファイル名は、半角英数字とし、必ず拡張子 (.pdf) がついているファイルのみとする。

4. 提出方法

提出方法は、原稿提出専用の四国支部メールアドレスに送信する。

5. 作成するアプリケーションと OS

原稿を作成するアプリケーションの制限はないが、OS は Windows 11 以上を推奨する。

6. PDF ファイルの作成方法

PDF ファイルは、原則として Adobe Acrobat DC 以降（または同等品）を用いて作成する。作成方法についてはソフトに付属のマニュアルまたはホームページ上の執筆要項を参照し、Acrobat の詳細は、(<http://www.adobe.co.jp/>)を参照すること。

7. 使用できるフォントの制限

投稿された PDF ファイルは Windows 上で稼働するため、原稿内に使用するフォントは以下に限定する。

OS Windows

日本語フォント MS 明朝または MS ゴシック

英字フォント Arial, Century, Helvetica, Symbol, Times, Times New Roman

8. 使用できる文字

コンピューターの機種により文字化けが発生する可能性があるので、漢字コードは第二水準以内の文字を使用する。

9. 色使い

本文の文字を黒色とするほかは、色使いの制限は特にない。

ただしモノクロプリンターで出力したものを印刷原稿として利用する。色によっては明確に出ない場合がありますので十分注意する。

10. 写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF化することにより、出力品質が劣化することがある。

ファイルサイズ制限内で、PDF化する際のジョブオプションの値を高くして作成すること。

イラストや画像、数式、グラフ等を含むPDFファイルの作成はPDF Writerではなく、Acrobat Distillerを使って変換すること。

11. 印刷の確認

作成したPDFファイルは一度プリンターで印刷し、執筆者の意図どおり印刷されることを確認する。